

平成 23 年 11 月 18 日に鹿児島県徳之島町で発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

11 月 18 日 19 時 10 分頃に徳之島町轟木^{とくのしまちょうとどろき}で突風が発生し、住家が飛ばされ倒壊し 3 名の死者が出るなどの被害が発生しました。

本日 (19 日)、鹿児島地方気象台と名瀬測候所は、突風現象の調査のため職員を気象庁機動調査班 (JMA-MOT) として派遣し、現地調査を実施しました。

結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻の可能性が高いと判断した。

(根拠)

- ・ 被害の発生時刻に被害地付近を積乱雲が通過中であった。
- ・ 被害や痕跡から推定した風向に収束性を示す部分があった。
- ・ 被害や痕跡は断続的であるが帯状の範囲内にあった。
- ・ 「ゴー」という音が通過していったという証言があった。
- ・ 「ゴー」という音はごく短時間であったという証言があった。

(2) 強さ (藤田スケール)

この突風の強さは藤田スケールで F1~F2 と推定した。

(根拠)

- ・ 住家が飛ばされ倒壊し、自動車が 20m 以上飛ばされたが、周囲の状況から F2 の特定には至らなかった。

(3) 被害範囲

この竜巻による被害範囲は、長さ約 500m、幅約 100m であった。

* この資料は、最新の情報により内容の一部訂正や追加をすることがあります。